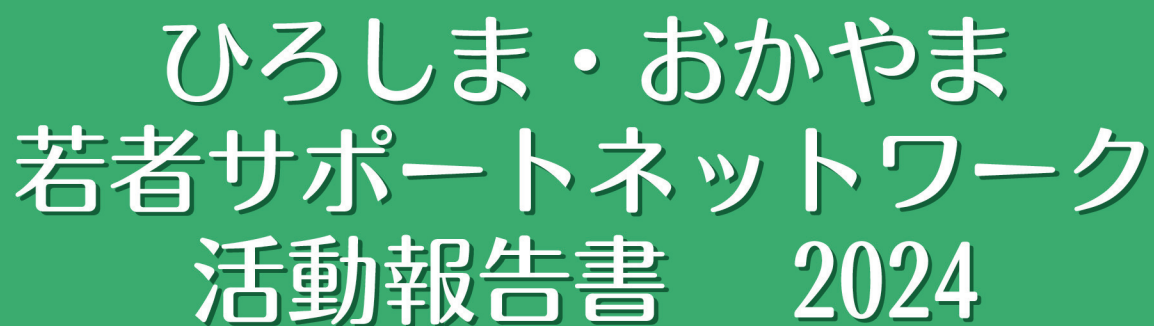




ひろしま・おかやま若者サポートネットワークについて

2年目の成果と課題、今後の展望
ご支援・ご協力いただいた皆様へ

①ひろしま・おかやま若者おうえん基金による助成
②ネットワーク加入団体との交流・情報提供の取り組み
③若者実態把握調査

はじめに

ひろしま・おかやま
若者サポートネットワークについて



ネットワーク設立に込めた想い

ひろしま・おかやま若者サポートネットワークは、特定非営利活動法人どりいむスイッチを事務局として、広島県と岡山県の若者支援団体の皆さんとともに2022年に創設いたしました。

家族や周りの大人に頼ることが難しく、「誰かと話したい」「誰かにそばにいてもらいたい」そう思った時、その誰かがいない若者もいます。

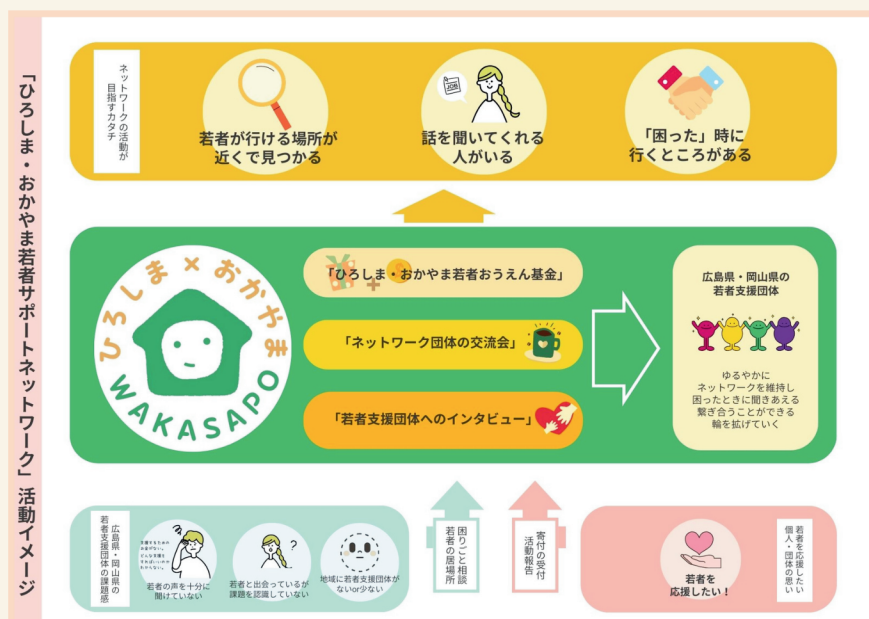
私たちは、若者の居場所、若者の社会参加や個別支援を行っている団体とともにネットワークを立ち上げるにより、若者の声を大切にし、どんなことがあっても繋がっていただける地域社会を目指しています。

いつでも誰かと繋がっていただける・傷ついても失敗しても大丈夫。

垣根を越えて支援者・応援してくださる方とも繋がりながら、「若者のこころの居場所」を皆さんとともにこの地域へ広げていきたいと思ひます。ぜひ応援よろしくお祈ひします。

ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク
(運営事務局：NPO法人 どりいむスイッチ)

ネットワークの活動イメージ



ネットワーク加入団体：17団体（2025年3月31日時点）



あそびばグループ



アフターケア事業所en



一般社団法人 SGSG



NPO法人
こどもステーション



NPO法人 子ども・若者支援
マイ・プレイス



「家族と教育を考える会」



NPO法人青少年交流・自立・支援センター
CROSS(クロス)
はじめの一歩をサポート



NPO法人だっぴ



一般社団法人
DVCA HIROSHIMA



一般社団法人
みんなのお家 ハルハウス



NPO法人 未来へ



NPO法人
むかいしまseeds



地域が子育てを支える
NPO法人とりで



特定非営利活動法人
ブエンカミーノ



DreamSwitch
NPO法人どりいむスイッチ

若者活動スペースちゃんくす

学習支援ヴァパウス

2024年度を終えて

ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク
運営事務局 NPO法人どりいむスイッチ

2年目の成果と課題、次年度への展望

事業担当 栗木原 薫 久住 祐香

無事に「ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク」として2年目の活動を終えることができました。各事業の詳細については次ページ以降の事業報告をご覧くださいと思いますが、事業運営担当者の視点から2年目となる2024年度を俯瞰的にふりかえると、大きく2つの成果があったと言えます。

1つ目は、クラウドファンディングを成功させることができたことです。1年目は他地域の若者サポートネットワークと合同でのクラウドファンディング実施でしたので、自分たちだけで目標を達成できるか、始める前は不安が大きかったのですが、実際はじめると、たくさんの方々に応援いただき目標の2倍ちかい金額を寄付いただきました。改めて、この地域の若者、若者に関わる団体へ関心を寄せ応援して下さる方々が多くいらっしゃることを感じるようになりました。

2つ目は、仲間（ネットワーク加入団体）が増えたことです。1年目に活動をはじめた時には「そもそもこの地域で若者に関わる団体ってとても少ないんじゃないか」と思いながらはじめましたが、いろんな繋がりの中で少しずつ出会うことができ、現段階で17団体がネットワークに加入しています。

一方、たくさんの団体の声を聴く中で、若者に関わり続けるための団体の体力を維持することの難しさもより一層感じるようになってきました。

これらを踏まえ、次年度については団体同士が支え合うことができるネットワーク作りに取り組んでいきたいと考えています。引き続きのご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご支援、ご協力いただいた皆様へ

理事長 中村 友紀

このたびは貴重なご寄付を賜り、心よりお礼申し上げます。ご支援を通して「若者のこころの居場所」の大切さを、皆様と共有できたことが何よりも重要だと感じています。若者が安心して成長するためには、多様な他者の存在が必要です。「若者のこころの居場所」には、そんな誰かとの接点があります。若者は社会を映す鏡でもあり、若者と共に活動することは、未来を共に考え創ることに他なりません。今の社会に、どのような「若者のこころの居場所」が必要なのか、皆様と、そうして若者と一緒に、これからも考えていければ幸いです。



活動報告①

ひろしま・おかやま若者おうえん基金による助成

今年度も若者のこころの居場所を作る取り組みを行っている団体を資金面で応援するため、クラウドファンディングサイト「READYFOR」を通したクラウドファンディングを実施しました。昨年度は他地域の若者サポートネットワークとの合同開催でしたが、今年度は本ネットワーク単独での挑戦となり、始まるまではうまくいかず不安もありましたが、開始すぐから多くの方に関心を寄せていただき、最終的には当初の目標を大きく上回り達成することができました。このご寄付を有効活用するために下記4団体の活動助成にとどまらず、今後新たに若者のこころの居場所を立ち上げようとする団体へのスタートアップ助成を行うこととし、2025年度は団体の公募や審査を経て、若者のこころの居場所をつくる活動を一層広めていく取り組みを進めていきます。ご寄付や情報発信などでご支援、ご協力いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

実施期間

2024年7月1日～8月29日（60日間）

寄付総額

1,202,850円

寄付者数

87名 ※

※ 投げ銭など無記名でのご寄付も寄付総額に含めてご報告させていただきます。

この助成を通して関わった人数

延べ 2,995人

いいね数（期間中の投稿へのリアクション延べ数）



773



825



助成団体の 活動紹介



助成 団体名

一般社団法人SGSG
奉還町ユースセンター

NPO法人子どもシェルターモモ
アフターケア事業所en

助成金を 活用した活動

ユースセンターの認知度を高めるポッドキャストの定期配信
2024年7月～2025年3月合計38回（毎週土曜日21時配信）

- ①週1回の巻かずしとお弁当の配布：2024年10月～2025年3月
- ②児童養護施設退所者への当事業所の紹介：2025年2～3月
- ③ミニおせちの調理・配布：2024年12月
- ④体調不良者へのお見舞い品の差し入れ訪問：随時

助成金を 活用した 活動の 成果と効果

*活動の成果

- ・民設民営のユースセンターである「奉還町学習センター」の認知度を高めるためのポッドキャストを配信
- ・メインの進行を代表である野村が行い、毎回「ゲスト」という形で中学生から大学生世代が出演
- ・1か月に1回程度「ようこそ先輩」というコーナーを設けユース世代のロールモデルとなるような社会人が出演
- ・リスナーのほとんどが岡山県内の中学生、高校生でチャンネル登録者は160名。総再生回数は2303回。

*活動による効果

リスナーのほとんどが奉還町ユースセンターの利用層と重なる中高生であったので、ユースセンターの広報を行うという点を見れば、効果的な広報活動であったと考える。

*活動の成果

- ①食料支援として、30人に518食を提供した。
- ②児童養護施設卒業のお祝いに3施設を訪問し、8名に記念品を渡し、事業説明をした。
- ③希望者23人に提供した。
- ④体調不良時の水分やゼリーを用意し、急なヘルプに備えた

*活動による効果

- ①毎週決まった曜日に配っている為、取りに来た人たちが少しずつ打ち解けて、相互交流の場になった。
- ②絶え間ないつながりとしての一役を担えた
- ③普段会っていない人に直接会えて様子を知れた。また、年末年始の行事の雰囲気や少しだけ伝えることができた。
- ④体調不良時のヘルプに対してタイムリーな対応ができたので孤立を防ぐことができた。

寄付者の方へ メッセージ

みなさまからのご寄付を起点に始まったポッドキャスト配信、助成終了後も継続して行っています。引き続き応援よろしくお願いします。

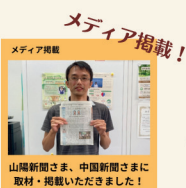
【ポッドキャストアーカイブサイト】 QR→
<https://hokagojack.themedia.jp/>



ケアリーバーにとって食料支援はとても助かっていると思います。支援者としても、話のきっかけをつかみやすかったり、しばらく顔を見ない子へのアウトリーチができたりと、孤立を防ぐ目的には大きな効果があったと思います。また、児童養護施設を卒業するタイミングで事業所の紹介ができることは絶え間ない支援への助けになります。大変ありがとうございました。

クラファン playback

7/1 クラファンスタート
7/3 スタートアップミーティング



7/13 ファーストゴール達成



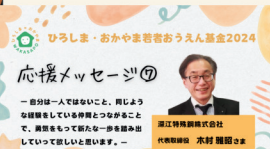
8/8 ネクストゴール達成



8/29 サードゴール達成
& クラファン期間終了



7/1~ 団体紹介動画リレー



7/13~ 応援メッセージリレー



8/3 「若者の心の居場所
を地域に」開催



8/22 シェア祭り



若者作成の寄付者向け
thank youカード

助成
団体名

NPO法人むかいしまseeds
ユースセンターズオノミチ

助成金を
活用した活動

- ①10代を見守る大人向けのよい教育（ユースへの包括的性教育を学ぶ会）：2024年12月10日（2回開催）
- ②おのみち10代まんなか忘年会（駆除されたイノシシ肉の加工者による料理やBBQで忘年会を開催）：2024年12月27日

助成金を
活用した
活動の
成果と効果

*活動の成果

- ①高校生1人を含む50人
- ②高校生20人

*活動による効果

- ①保護者の方をはじめ、市内高校の養護教諭、学校関係者、放課後等デイサービススタッフ、尾道市人権推進課の担当職員ら地域の皆さんに参加頂き、「家でも話してみたい」「伝え方が難しかったので勉強になった」といった感想を頂いた。
- ②ユース達はそれぞれ、ケーキを焼いて来たり、ゲームをしたり、ギターを弾きながらみんなで歌ったり、思い思いに過ごすことができた。新たな10代とのつながりが増えたことに加え、なかなかユースに紹介する機会がなかった拠点で開催することができた。地域に密着した活動をする職人気質のシェフという、ユニークな大人に出会い、慕う参加者も現れ、その後のリピート利用にもつながった。

寄付者の方へ
メッセージ

頂いた寄付を活用させて頂き、まちなかに点在するユースセンターを作る目標に近づくための課題であった、ユースリーチ＝「新たな出会いを生み出す」ということにチャレンジすることが出来ました！また勉強会では、活動を地域の大人の皆さんにも知って頂く機会にもなりました。ご支援本当にありがとうございました！

NPO法人未来へ
社会的養護自立支援拠点事業 灯

- ①一人暮らし体験：2024年11月23日～11月24日
- ②お弁当の配布：2025年1月～3月まで4回実施
- ③居場所支援：2025年2月～3月まで3回実施
- ④一時避難場所：2024年10月1日～11月23日

*活動の効果

- ①1名の児童が参加。
- ②フリースクールの児童1名の調理実習4回実施。毎回6～5世帯にお弁当の配布。
- ③引きこもりの利用者1名。
- ④1世帯利用。

*活動による効果

- ①まずは企画が実施できたことが成果だが、実施日数などの改善点もわかった。
- ②調理実習の要望に応えられたことと、お弁当配布によって、関わっている方々と継続的なつながりを作る体制作りができた。
- ③面談の時に活動のバリエーションが増え、利用者も意欲的に取り組んでいるように見える。
- ④緊急の受け入れに備えて日持ちする食料品を購入。緊急時の対応が今後もできるような体制作りができた。

寄付をいただき、設備の面の充実を図れたり、またいろいろな企画を試みる機会となり、来年度も計画してやっていく礎になりました。ありがとうございました。

活動報告②

ネットワーク加入団体との交流・情報提供の実施

公開イベント「若者の心の居場所を地域に」

2024年8月9日(金)13:30～15:30 @iti SETOUCHI tovio
およびオンライン(ZOOM)
参加者：75名（会場33名、オンライン42名）

おうえん基金のクラウドファンディング開催に合わせて、本ネットワークが大切にしている「若者の心の居場所」の必要性に関心を寄せ、場づくりを担っていく人が増えていくことをねらいとした公開イベントを開催しました。

前半は、認定NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ理事長の湯浅誠さんから居場所についてお話いただき、後半は湯浅さんに加えて、むかいしまseedsの田中実枝さん、若者を代表して山崎一馬さん、そして、どりのむスイッチ代表の中村がトークセッションを行いました。

前半の湯浅さんの講演では、居場所づくりで大切な考え方や、歴史的背景からも日本では若者のための居場所がそもそも少ないことなどに触れ、イベントのタイトルでもある「若者のこころの居場所を地域に」作っていくことの重要性を裏付けていただくようなお話をいただきました。

後半のトークセッションでは、湯浅さんのお話を受けて、それぞれの現場での実践から見た課題感や若者を受け入れる地域の空気感の共有、また、若者自身はどのような関わりを居場所に求めているのかという投げかけなど、短い時間ながらも濃いやりとりが交わされました。

参加者の感想

- * 居場所に関する文脈を時代背景などの大きな視点から見ることが出来ました。居場所を運営していると、どうしても近視眼的になりがちなので、大変勉強になりました。
- * それぞれの現場で活動される生の声（提供する方もされる方も）聞けたのが良かったです。



オンライン勉強&交流会

開催日時：2024年11月20日(水)13:00～15:00
参加者：6団体11名

NPO法人コミュニティ・オーガナイズ・ジャパンの會澤裕貴さんを講師にお招きして、「よりよい事業運営のためのみつまなおしワークショップ」というテーマで開催しました。

事業運営というテーマで自分たちの組織、事業を個人で見つめなおした後にその内容をシェアしあうことで、それぞれが日ごろから考えていることを深く知り合うことができる機会となりました。

今回のワークを組織に持ち帰ってやってみようと思っているという声もあり、それぞれの現場でも活かしてもらえるものになったようです。



交流会 @SGSG（地域交流ステーション verde）

開催日時：2025年1月20日(月)10:00～14:00
参加者：6団体14名

参加したメンバーそれぞれが歩んできた人生や今後やりたいことについて、グループに分かれて一人一人が深く語り聴きあう自己紹介ワークの後、今後のネットワークの形について考えるためにそれぞれの団体が感じている若者の課題についてシェアし、ネットワークとして何ができるかを考えました。対面ならではの雑談やごはんの時間なども含めて、ぐっと交流が深まる機会となりました。



活動報告③

若者実態把握調査

若者実態把握調査のねらい・対象・実施方法

「若者実態把握調査」は、本ネットワークにおいて広島・岡山の若者と若者支援団体の実態を把握することを目的に3年をかけて対象や規模を広げながら調査を進めています。調査の主な対象は、①ネットワーク加入団体を利用する若者、②ネットワーク加入団体のスタッフです。2年目となる2024年度の予備調査では加入団体1団体を対象にアンケートとインタビューを実施しました。次年度はさらに規模を広げて調査を進めることで、地域全体の傾向を確認したいと考えています。

1年目（2023年度）
団体へのヒアリング

調査の詳しい報告は
HPからご覧いただけます

2年目（2024年度）
予備調査

3年目（2025年度）
本調査



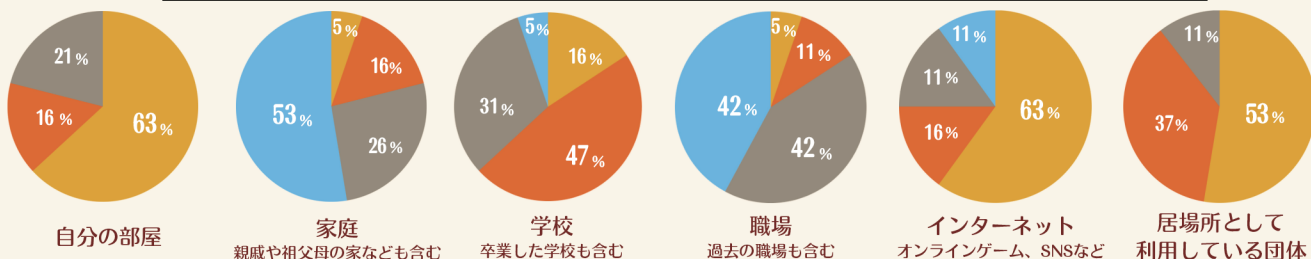
居場所利用者によるアンケート調査およびインタビュー調査（一部抜粋）

【回答者属性】ネットワーク団体が開く居場所を利用している10～30歳代の19名

【備考】①Q7.の円グラフ内は各回答項目の割合を四捨五入で表示、②Q.12～15は各質問8～11個の選択肢から複数回答可とし上位3個を記載

Q.7 いまのあなたにとって、以下の場所は居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所）になっているか、教えてください

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



Q.12 あなたにとって、この団体がひらく場はどのような場所ですか？

悩み事の相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる（14人）

好きなことをして自由に過ごせる（12人）

いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる（12人）

インタビューでの若者の声

しんどい時でも、ここに来て話したり居場所に来てる子と遊んだりしたらちょっと気持ちが和らぐ。



Q.13 この団体がひらく場に行くようになって、変わったことがありますか？

自分のことを大切にしてくれる人やサポートしてくれる人があると感じるようになった（11人）

楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった（10人）

自分の気持ち（したいことや嫌なことなど）を伝えてもいいと思うようになった（9人）

インタビューでの若者の声

「〇〇に困ってない？」と聞いてくれるのがうれしい！



Q.15 この団体にかわからず、あなたにはどんな場所があったらいいと思いますか？

いつでも行きたい時に行ける（14人）

好きなことをして自由に過ごせる（12人） / いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる（10人）

この場は、「否定されない」という安心感がある。

若者支援団体職員へのインタビュー調査

1 利用前後での若者の変化

時間はかかるが、信頼関係ができてくると、困ったこととかを話してくれるようになる。「この人なら話してもいいんだ」って思ってもらえるようになる。みんなが言えるようになるとは限らないが、少なからず困ったことを相談できる大人がいるという思いは増えていると感じている。

2 まだ出会っていない若者に活動を届けるには

自団体のことを知らない若者がすごく多いということを改めて思っている。未だ出会えない若者に知ってもらおうにも、自分たちが直接つながることはできない。だからこそ、その若者にすでにつながっている人（他団体のスタッフ等）と自分たちがつながることが重要だと思う。

3 ②ができるようになるためには

オンラインではなく、リアルにいろんな人に会える場があると良い。人となりや、その場がもつ空気感を感じられる。実際に、今までは研修や交流をオンラインでやっていたが、リアルで会ってみたら印象が変わったこともある。

ネットワークのあゆみ

2023年度

- 6月
準備委員会による意見交換会 開催
- 8～9月
合同クラウドファンディング実施
(首都圏・九州・さんいん)
- 9月
ネットワーク発足記念イベント
「REAL VOICE」上映会 開催
- 1～3月
おうえん基金助成採択団体による事業実施
- 1月
若者支援団体スタッフを対象とした勉強会
- 2月
若者支援団体スタッフを対象とした交流会
- 3月
若者支援団体スタッフを対象とした
インタビュー

2024年度

- 4月
2023年度活動報告書発行
- 6月
ネットワークHP公開
- 7～8月
クラウドファンディング実施
- 8月
公開イベント
「若者の心の居場所を地域に」 開催
- 10～3月
おうえん基金助成採択団体による事業実施
- 11月・1月
ネットワーク加入団体のための
勉強会、交流会
- 1～3月
ネットワーク加入団体を対象とした
若者実態把握予備調査



発行・お問合せ先

ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク
事務局：NPO法人どりいむスイッチ

TEL：084-983-1488

MAIL：wakasapo@dreamswitch.or.jp

